

## 鳥獣被害対策とは何か

～3つの「できること」～

ひと昔前に比べると、テレビやインターネットのニュースで、鳥獣被害に関する記事を目にすることが多くなったと感じています。世間の関心が大きくなっているのでしょう。ニュースなどでよく言われるのが、「ハンターの減少」が課題になっているということです。確かに、そのような側面はあると思いますが、最大の課題なのでしょうか。

鳥獣被害対策は、ハンターなど、一部の誰かが担うものではなく、皆で協力して行ってこそ効果が出るものです。特別な資格や技術がなくても、できることはあります。

### 私たちにできること

#### 1. 環境整備

農地や住宅の周りの環境を、野生動物が好まない環境にしてしまうのが環境整備です。野生動物は、身を隠すことのできるやぶを好みます。刈り払って、隠れ場所を減らしましょう。また、収穫しないくず野菜や生ごみなどは、野生動物にとって料亭並みのごちそうです。動物に与えてしまわないよう、片付けましょう。カキやクリなどの果樹は、実を放置しないように管理しましょう。管理が難しい場合は、伐採を検討してください。

#### 2. 防除

環境整備を行っても、農地に作物があれば野生動物は来ます。ワイヤーメッシュ柵や電気柵などを設置して、農地を一周囲みましょう。柵は設置して終わりではなく、日ごろの点検や管理がとても重要です。柵の近くにやぶがあれば、動物が居ついでいずれ突破されますので、周りの草刈りをしましょう。また、サルが来たら、その都度追い払きましょう。

#### 3. 捕獲との連携

環境整備と防除をしても、悪質な野生動物によって被害が出ることがあります。そんな時は、役場に連絡して、捕獲従事者に伝えてもらってください。捕獲をすることになっても、環境整備と防除は続けましょう。

対策をしても、一度で効果が出ないこともあります。常に工夫して、改良して、私たちにできることを繰り返していきましょう。その先に成功があります！

### お知らせ

令和7年度は、飯館村内のできるだけ多くの地域を回らせていただいて、鳥獣被害対策のご相談を直接お受けしたいと考えています。皆さんにお会いできる日を楽しみにしています。一緒に対策を考えましょう！

イラストも…!

イノサル通信は村の鳥獣対策を支援する京黒さんからののお知らせです。



福島県避難地域鳥獣対策支援員  
きょうくろ あつし  
京黒 篤志 さん

令和3年1月から福島県避難地域鳥獣対策支援員を務めています。令和6年度から飯館村の主担当となりました。



## 公共の建物 思いを形に意義を高めて

### 歴史の散歩道

また、旧飯館村立飯樋小学校の校舎（現在の飯館村地域防災センター）が、公立学校優良施設として平成17年に文教施設協会会長賞

を受けています。また、旧飯館村立飯樋小学校の校舎（現在の飯館村地域防災センター）が、公立学校優良施設として平成17年に文教施設協会会長賞

「ふかや風の子広場」の屋内運動施設「ひみつ基地」が、第40回福島県建築文化賞「復興賞」を受賞しました（詳細はP2）。

村の公共施設は、これまでも複数の建物が建築分野の賞を受賞しています。福島県建築文化賞については、特別養護老人ホーム「いいいたてホーム」が第20回（平成14年）優秀賞を、

村営住宅「笠石住宅」が第24回（平成18年）特別部門賞を受賞。全村避難の期間にも、福島市飯野町に整備した飯館村災害公営住宅「飯野町団地」が第34回（平成30年）復興賞を受賞しています。

また、旧飯館村立飯樋小学校の校舎（現在の飯館村地域防災センター）が、公立学校優良施設として平成17年に文教施設協会会長賞

を受けています。また、旧飯館村立飯樋小学校の校舎（現在の飯館村地域防災センター）が、公立学校優良施設として平成17年に文教施設協会会長賞

「ふかや風の子広場」の屋内運動施設「ひみつ基地」が、第40回福島県建築文化賞「復興賞」を受賞しました（詳細はP2）。

村の公共施設は、これまでも複数の建物が建築分野の賞を受賞しています。福島県建築文化賞については、特別養護老人ホーム「いいいたてホーム」が第20回（平成14年）優秀賞を、

村営住宅「笠石住宅」が第24回（平成18年）特別部門賞を受賞。全村避難の期間にも、福島市飯野町に整備した飯館村災害公営住宅「飯野町団地」が第34回（平成30年）復興賞を受賞しています。



交流センター「ふれ愛館」のホール。ステージ奥の幕を開けると大きな窓越しに外の景色が現れます。



交流を意識した住宅の配置やデザイン性が評価された「飯野町団地」。団地の中心に位置する集会所。

ふれ愛館だより 交流センター「ふれ愛館」からのお知らせです。

### おすすめ図書を紹介しします

SDGsキャラクター図鑑



秋山宏次郎 監修  
いとうみつる 絵  
日本図書センター

3月17日は、みんなで考える「SDGs（エス・ディー・ジーズ）の日」です。何気なく耳にするSDGsとはどのようなものなのか？交流センターでは、SDGsの基本の本や多様性について知ることが出来る本を新たに購入しました。見て、知って、身近なところから実践していきましょう。

交流センターではさまざまなジャンルの書籍・雑誌・絵本を貸し出しています。ぜひご利用ください。